

「神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会」

設立趣旨

近年、災害の局地化・集中化・激甚化が顕著となり、自然災害のステージが明らかに変わってきています。そして、地震災害や豪雨災害で発生する大規模かつ広域的な土砂災害が頻発しています。

こうした災害から地域住民の生命・財産を守るため、国・県・市町村の的確な災害対応が、より重要となってきました。そしてこれら関係機関が連携し情報を共有することが、二次災害防止を図っていくうえで迅速かつ円滑な災害対応に不可欠となっています。

こうしたことから関係機関により意見交換を重ね、地域防災力の向上と大規模土砂災害が発生した場合の危機管理体制の確立に向け、情報の共有化の進め方などその連携の在り方を検討し、認識を深めてまいりました。

これまでの検討をふまえ、大規模かつ広域的な土砂災害に対し関係各機関が実施する防災・減災活動をより迅速に、かつ効率的・円滑に実施する体制として「神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会」を設立するものです。